その他事業一覧

部名称	課名称	事業名称	令和7年度 要求額 (千円)	令和7年度 最終査定額 (千円)	頁
都市計画部	都市景観室	まちなみ再生事業	10,762	8,162	1
都市計画部	都市景観室	良好な景観の形成	3,129	3,129	3
都市計画部	都市景観室	公共施設等サイン管理	6,952	6,952	5
都心未来創造部	都心活性化担当	都心整備管理事業	29,061	29,061	7
都心未来創造部	堺駅エリア整備担当	臨海部活性化推進事業(堺駅)	2,074	2,068	9
都心未来創造部	ベイエリア推進担当	臨海部整備推進事業	16,473	16,465	11
都心未来創造部	ベイエリア推進担当	臨海部整備推進事業管理経費	32,499	32,407	13
都心未来創造部	ベイエリア推進担当	臨海部活性化推進事業(ベイエリア)	54,074	54,003	15
交通部	交通政策担当	総合交通体系調査	12,696	12,696	17
交通部	公共交通担当	交通バリアフリー化整備促進事業	78,000	78,000	19
交通部	公共交通担当	バス運行事業(路線バス網再編等対策補助事業)	24,868	24,868	21
交通部	公共交通担当	バス運行事業(美原区域路線バス運行事業)	139,668	139,668	23
交通部	公共交通担当	バス運行事業(堺市立総合医療センター線運行事業)	10,272	10,272	25
都市整備部	区画整理担当	密集住宅市街地整備事業(新湊地区)	188,268	39,280	27
都市整備部	中百舌鳥・拠点整備担当	都市再開発等推進事業	128,964	127,448	29
住宅部	住宅施策推進課	住宅専門家相談事業	528	528	31
住宅部	住宅施策推進課	分譲マンション管理・再生促進事業	9,231	9,231	33
住宅部	住宅施策推進課	空き家対策推進事業	36,000	36,000	35
住宅部	住宅施策推進課	泉北ニュータウン子育て世帯等住まいアシスト事業	1,980	1,980	37
住宅部	住宅管理課	転用敷地処分事業	7,982	7,982	39

令和7年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	まちなみ再生事業	事業番号	017-006
担当部署名	建築都市 局	都市計画 部	都市景観 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ~Legacy~	施策	(2) 環濠エリア・堺旧港の魅力の創出	
		有	取組の方向性	②歴史的なまちなみ再生・歴史的建築物の保全				
		寄与するKPI	有・無	指標名	環濠エリアへの来訪者数			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	182.6万人(2019年度)	目標値	300.0万人(2025年度)	
		有	取組	観光客の受け入れ環境の整備推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
無	現状値	—		目標値	—			
2	関連計画	堺市景観計画、堺市歴史的風致維持向上計画、堺市地域住宅等整備計画						
3	事業開始年度	平成 24 年度	点検対象年度	令和 7 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	街なみ環境整備事業制度要綱、堺市街なみ環境整備事業修景施設整備補助金交付要綱						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	環濠エリアのうち、特に町家が多く残る北部地区の歴史的なまちなみ	対象数	43	単位	ha	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	町家歴史館（鉄炮鍛冶屋敷、山口家住宅及び清学院）をはじめとする町家や、本願寺堺別院といった多くの寺社が立地し、歴史的風致が残る環濠エリア北部地区において、歴史文化を生かしたまちなみの再生を図ることにより、堺の魅力向上を図る。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	“歴史的なまちなみ再生”に向けて国の「街なみ環境整備事業」を活用し、堺市街なみ環境整備事業計画に基づいた町家の外観修景や道路の美装化等に向けた取組により、まちなみの再生を図る。					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	街なみ環境整備事業修景施設整備補助事業者					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	/	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度	
				目標値	4	3	3	3
				実績値	6	3		
達成率		150%	100%					
当該指標を選定した理由		修景施設整備が進むことにより、歴史的なまちなみの再生につながる						
目標値の設定根拠・算出方法		修景整備助成について、毎年3件実施する目標設定						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	/	実績	実績見込み	目標		
				令和5年度	令和6年度	令和7年度		
				目標値	3	-	2	
				実績値	3	2		
達成率		100%	-					
当該指標を選定した理由		勉強会等の開催により、地域の機運醸成につながる						
目標値の設定根拠・算出方法		まちなみ再生に向けた取組として、勉強会等を年2回開催する目標設定						

令和7年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	まちなみ再生事業	事業番号	017-006
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和7年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	9,414	9,022	18,660	14,687	10,762
	国支出金	4,706	4,494	9,309	7,250	4,300
	府支出金	-	-	-	-	-
	市債	-	-	-	-	-
	その他 ()	-	-	-	-	-
	受益者負担金(使用料、手数料等)	-	-	-	-	-
	一般財源	4,708	4,528	9,351	7,437	6,462

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	R7	予算	予算		R6	R7	予算	予算
14 事 業 費 内 訳	街なみ環境整備事業建物等修景補助金	R6	予算	14,500	7,250	まちなみ再生調査業務等委託	R6	予算	0	0
		R7	予算	8,600	4,300		R7	予算	2,000	2,000
	消耗品費等	R6	予算	81	81		R6	予算		
		R7	予算	34	34		R7	予算		
	通信運搬費	R6	予算	84	84		R6	予算		
		R7	予算	110	110		R7	予算		
	会場借上料	R6	予算	20	20		R6	予算		
		R7	予算	18	18		R7	予算		
	その他保険料	R6	予算	2	2		R6	予算		
		R7	予算	0	0		R7	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

R6まで		<ul style="list-style-type: none"> ・街なみ環境整備事業方針及び事業計画の策定、町なみ再生協議会設立 (H26年度)、協議会活動支援 (H26～R5年度) ・まちなみガイドライン策定 (H27年度)、修景補助制度の運用 (H27年度～)
16 R7		<ul style="list-style-type: none"> ・修景補助制度の運用
R8以降		<ul style="list-style-type: none"> ・修景補助制度の運用 ・街なみ環境整備事業方針及び事業計画の策定 ・道路の美装化等のまちなみ再生に向けた取組

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<p>環濠エリア北部地区において、堺市街なみ環境整備事業修景施設整備補助制度の活用により、周辺の歴史的なまちなみとの調和を促進し、地域の意識醸成を図ることで、堺環濠エリア北部地区の歴史的なまちなみ再生及び保全につながる。</p> <p>また、堺市基本計画2025のKPIである環濠エリアの来訪者数の増加に向けて、他部局の事業と連携し、周辺の歴史的なまちなみとの調和に配慮した修景補助を行うことで、観光客の受け入れ環境の整備としてKPIに寄与している。</p>
----	---------	---

令和7年度 事務事業予算要求シート (1)

		要求区分	その他
一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	良好な景観の形成	事業番号	017-008
担当部署名	建築都市 局	都市計画 部	都市景観 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ~Legacy~	施策	(1) 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の継承と魅力の創出	
		有	取組の方向性	①百舌鳥古墳群の保全・継承とゲートウェイ機能の強化				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.4	
		有	取組	百舌鳥古墳群の保全				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	堺市景観計画、堺市歴史的風致維持向上計画		
3	事業開始年度	平成 6 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	景観法、堺市景観条例、屋外広告物法、堺市屋外広告物条例		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民、建築業・屋外広告業等事業者	対象数	単位
			約81万	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	適切に景観形成を進めることにより、本市の魅力向上を図る。また、まちなみの美しさを高めるため、総合的な景観施策の展開と景観誘導を進める。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p>・本市全域において、大規模な建築物や工作物の新築などを行う場合、景観法及び堺市景観条例等に基づき、大規模建築物等の届出制度による行為の制限（景観形成基準）に基づく審査を実施することで、実効性ある景観誘導を進める。特に、百舌鳥古墳群周辺地域においては、小規模建築物を対象にするなど、認定申請制度による形態・意匠の制限に基づく審査を実施することで、百舌鳥古墳群に相応しい良好な景観形成を図る。</p> <p>・良好な景観を実現するため、屋外広告物法及び堺市屋外広告物条例等に基づき許可制度を実施することで、安全でかつ景観に配慮した秩序ある屋外広告物の掲出を促す。また、百舌鳥古墳群周辺地域では、基準に適合しない広告物について、周知・啓発・指導等を行うことで早期に適正化を図る。</p>		
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)			
10	公民連携・協働事業			

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
	景観法に基づく大規模建築物等の届出数及び景観地区の認定申請数	%	目標値	120	120	120	120
			実績値	145	120		
達成率			121%	100%			
	当該指標を選定した理由	制度の適正な運用を図ることにより、実効性のある景観誘導を進めることができるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	例年の届出等件数から、目標件数を設定					

12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	堺市景観アドバイザーによる助言件数	件	目標値	30	30	30	
			実績値	30	42		
達成率			100%	140%			
	当該指標を選定した理由	専門的な知識及び経験を有するアドバイザーによる助言を受けることにより、良好な景観形成の推進を図ることができるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	これまでの実績から、目標件数を設定					

令和7年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	良好な景観の形成	事業番号	017-008
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和7年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
		3,817	6,983	8,445	6,413	3,129
13 財 源 内 訳	国支出金	-	2,475	3,734	-	-
	府支出金	-	-	-	-	-
	市債	-	-	-	-	-
	その他 (世界遺産保全活用推進基金)	2,580	-	-	-	-
	受益者負担金(使用料、手数料等)	849	1,243	976	5,535	1,541
	一般財源	388	3,265	3,735	878	1,588

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目	年度	事業費		主な項目	年度	事業費			
			うち一般財源	うち一般財源			うち一般財源	うち一般財源		
14	景観審議会委員等報酬	R6	予算	939	102	消耗品	R6	予算	51	0
		R7	予算	1,041	204		R7	予算	71	13
	計画策定等委託料	R6	予算	3,640	625	通信運搬費	R6	予算	155	0
		R7	予算	990	990		R7	予算	191	0
	筆耕翻訳費	R6	予算	222	111	その他	R6	予算	140	40
		R7	予算	27	14		R7	予算	165	125
	印刷製本費	R6	予算	1,154	0		R6	予算		
		R7	予算	552	242		R7	予算		
	その他保険料	R6	予算	112	0		R6	予算		
		R7	予算	92	0		R7	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

R6まで	<ul style="list-style-type: none"> ・景観法に基づく届出制度（市内全域での大規模建築物、堺環濠都市地域での中規模建築物）や景観地区の認定制度の運用・周知・啓発、景観賞の開催による良好な景観形成に係る啓発 ・屋外広告物許可制度の運用及び周知・啓発、百舌鳥古墳群周辺地域の適正化に向けた周知・啓発・指導
16 R7	<ul style="list-style-type: none"> ・景観法に基づく届出制度（市内全域での大規模建築物、堺環濠都市地域での中規模建築物）や景観地区の認定制度の運用・周知・啓発、景観賞の開催による良好な景観形成に係る啓発 ・屋外広告物許可制度の運用及び周知・啓発、百舌鳥古墳群周辺地域の適正化に向けた周知・啓発・指導
R8以降	<ul style="list-style-type: none"> ・景観法に基づく届出制度（市内全域での大規模建築物、堺環濠都市地域での中規模建築物）や景観地区の認定制度の運用・周知・啓発、景観賞の開催による良好な景観形成に係る啓発 ・屋外広告物許可制度の運用及び周知・啓発、百舌鳥古墳群周辺地域の適正化に向けた周知・啓発・指導

Ⅴ. 要求のポイント

17 要求のポイント	<p>市域全域での良好な景観形成を図るため、景観法に基づく大規模建築物等の届出制度を実施し、百舌鳥古墳群周辺地域及び堺環濠都市地域ではより一層きめ細やかに景観誘導するため景観地区認定制度や届出制度を実施する。また、安全かつ景観に配慮した秩序ある屋外広告物の掲出を促進し良好な景観形成を図るため、屋外広告物法及び堺市屋外広告物条例等に基づく屋外広告物の許可制度を実施する。</p>
------------	---

令和7年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	公共施設等サイン管理	事業番号	017-009
担当部署名	建築都市 局	都市計画 部	都市景観 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		無	取組の方向性	—	—	—	
	寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—	
		無	現状値	—	目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9
		有	取組	観光客の受け入れ環境の整備推進			
寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—		
有	現状値	—	目標値	—	—		

2	関連計画					
3	事業開始年度	平成 7 年度	点検対象年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市公共施設案内サイン整備計画、堺市公共施設案内サイン維持管理計画				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民、来訪者	対象数	単位	約81万 人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市民や来訪者等の方々を、公共施設案内サインによって市内の公共施設等へ円滑に案内誘導し、利便性向上に寄与する。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	堺市公共施設案内サイン整備計画に基づく秩序ある整備、堺市公共施設案内サイン維持管理計画に基づく適切な維持管理により、市民や来訪者を市内の公共施設等に円滑に案内誘導する。				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	サイン作成業者				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	/	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度	
				目標値	100	100	100	100
				実績値	100	100		
公共施設案内サイン機能確保率		%		達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		公共施設案内サインを適切に管理し機能を確保することにより、市内の公共施設等に誘導できるようになるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		公共施設案内サイン機能確保率 = 機能確保済みサイン数 / 全サイン数						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	/	実績	実績見込み	目標		
				令和5年度	令和6年度	令和7年度		
				目標値	100	100	100	
				実績値	100	100		
公共施設案内サインのうちオーバーハング式 (OH式) のものについて5年に1回の頻度で点検を実施		%		達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		公共施設案内サインの点検を実施することで、安全性や案内・誘導機能が確保されていることを確認できるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		公共施設案内サイン (OH式) の5年以内の点検実施率 = 点検実施サイン数 / OH式サイン数						

令和7年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	公共施設等サイン管理	事業番号	017-009
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 令和7年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	3,088	4,331	3,053	7,135	6,952
13	財 源 内 訳	国支出金	-	-	-	-
		府支出金	-	-	-	-
		市債	-	-	-	-
		その他 ()	-	-	-	-
		受益者負担金(使用料、手数料等)	-	-	-	-
		一般財源	3,088	4,331	3,053	7,135

事業費の内訳

(単位：千円)

		主な項目				主な項目					
		年度	事業費	うち 一般財源	年度	事業費	うち 一般財源				
14	事 業 費 内 訳	サイン修繕業務 (維持管理)	R6	予算	4,039	4,039	その他保険料	R6	予算	50	50
			R7	予算	4,400	4,400		R7	予算	50	50
		サイン修繕業務 (緊急対応)	R6	予算	200	200		R6	予算		
			R7	予算	200	200		R7	予算		
		施設等修繕料	R6	予算	300	300		R6	予算		
			R7	予算	300	300		R7	予算		
		サイン撤去工事	R6	予算	2,500	2,500		R6	予算		
			R7	予算	2,000	2,000		R7	予算		
		消耗品費	R6	予算	46	46		R6	予算		
			R7	予算	2	2		R7	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

R6まで		<ul style="list-style-type: none"> ・サインの点検、修繕等の維持管理 ・不要となったサインの撤去工事
16 R7		<ul style="list-style-type: none"> ・サインの点検、修繕等の維持管理 ・不要となったサインの撤去工事
R8以降		<ul style="list-style-type: none"> ・サインの点検、修繕等の維持管理 ・不要となったサインの撤去工事

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	公共施設案内サインの点検や調査を実施し、必要に応じて修繕等を行う。また、不要となったサインを撤去する。
----	---------	---

令和7年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計			要求区分	その他
			事務事業分類	E 指定管理者事業
事務事業名	都心整備管理事業		事業番号	017-052
担当部署名	建築都市	局	都心未来創造	部
			都心活性化担当	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ~Attractive~	施策	(3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①多様な人が集う魅力的な都市空間の実現			
		有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール①住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3	
		寄与するKPI	有	取組	堺グランドデザイン2040に基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進			
		有・無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	「堺グランドデザイン2040」、「堺市都市計画マスタープラン」、「堺都心未来創造ビジョン」					
3	事業開始年度	平成 24 年度	点検対象年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市市民交流広場条例					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、指定管理者					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市民及び市外からの来街者	対象数	単位			
			—	—			
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市民の活動や交流の場となるMinaさかい（市民交流広場）の活用等を促進することで、堺都心部の魅力向上と活性化を図る。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ・Minaさかい（市民交流広場）において、指定管理者制度により民間活力を導入し、多様な人の交流・滞留空間であり、ウォークアブルな空間形成を図る。 ・歩行者デッキ等の維持管理を行い、市民に対し安全・安心な利用環境を提供する。 					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	指定管理者、委託業者					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）	人/日		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
			目標値	43,900	44,100	45,000	45,000
			実績値	40,868 (速報値)			
			達成率	93%			
	当該指標を選定した理由	都心部への来訪者のアクセス拠点である堺東駅・堺駅の乗降客数を確認することで、Minaさかいの活性化状況を把握することができるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市基本計画2025において設定しているKPI					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
	Minaさかいの利用回数	回		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	320	370	370	
			実績値	366			
			達成率	114%			
	当該指標を選定した理由	Minaさかい（市民交流広場）を利用してもらうことで、都心部に対して市内外からの来街が期待できるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	Minaさかい利用回数					

令和7年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	都心整備管理事業	事業番号	017-052
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和7年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13	事業費 (a)	100,119	45,665	24,413	25,300	29,061
	財源内訳					
	国支出金					
	府支出金					
	市債	59,700				
	その他 ()					
認識	受益者負担金(使用料、手数料等)	715	594	977	400	
	一般財源	39,704	45,071	23,436	24,900	29,061

事業費の内訳

(単位：千円)

	事業費内訳	主な項目				主な項目				
		年度	事業費	うち一般財源	年度	事業費	うち一般財源			
14	謝礼金	R6	予算	82	82	光熱水費	R6	予算	243	243
		R7	予算	41	41		R7	予算	0	0
	施設等修繕料	R6	予算	1,000	1,000	市民交流広場等維持管理業務	R6	予算	23,686	23,286
		R7	予算	300	300		R7	予算	0	0
	その他保険料	R6	予算	289	289		R6	予算		
		R7	予算	132	132		R7	予算		
	歩行者デッキ等維持管理業務	R6	予算	0	0		R6	予算		
		R7	予算	2,610	2,610		R7	予算		
	堺市市民交流広場指定管理業務	R6	予算	0	0		R6	予算		
		R7	予算	25,978	25,978		R7	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

R6まで	Minaさかいを安全・安心に利用できる環境を形成するため、維持管理業務を行う。また、Minaさかいの円滑な運営を図り、更なる活用の検討を行う。民間活用を図るため、指定管理者制度導入に向けた取組を進める。
16 R7	Minaさかい（市民交流広場）において、指定管理者制度により民間活力を導入し、多様な人の交流・滞留空間であり、ウォーカブルな空間形成を図る。歩行者デッキ等を安全・安心な利用環境を提供するため、維持管理業務を行う。
R8以降	Minaさかい（市民交流広場）において、指定管理者制度により民間活力を導入し、多様な人の交流・滞留空間であり、ウォーカブルな空間形成を図る。歩行者デッキ等を安全・安心な利用環境を提供するため、維持管理業務を行う。

Ⅴ. 要求のポイント

17 要求のポイント	Minaさかい（市民交流広場）において、指定管理者制度により民間活力を導入し、多様な人の交流・滞留空間であり、ウォーカブルな空間形成を図る。歩行者デッキ等を安全・安心な利用環境を提供するため、維持管理業務を行う。
------------	--

令和7年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計	要求区分	その他	
	事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	臨海部活性化推進事業 (堺駅)	事業番号	017-065
担当部署名	建築都市 局	都心未来創造 部	堺駅エリア整備担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ~Attractive~	施策	(3)人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③バイエリアとの連携			
		有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数 (定期利用者を除く)				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3	
		寄与するKPI	有	取組	堺グランドデザイン2040に基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進			
		有・無	指標名	—				
無	現状値	—		目標値	—			
2	関連計画							堺臨海部再生・創造ビジョン、堺市中心市街地活性化基本計画、堺グランドデザイン2024、堺都心未来創造ビジョン
3	事業開始年度		平成 23 年度		点検対象年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)							

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		臨海部を訪れる市民及び市外からの来訪者			対象数	単位
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		「堺都心未来創造ビジョン」等に示す堺旧港の将来イメージの実現に向けて、魅力創出に向けた取組を進める。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)		堺旧港エリアの活性化の核として、大浜北町市有地活用事業を推進するため、公共施設の安全性を確保し、快適性向上のために必要な施設の維持管理等を行う。				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)		委託業者				
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	点検対象年度
			令和7年度	令和7年度		
	目標値					
			実績値			
			達成率			
	当該指標を選定した理由					
	目標値の設定根拠・算出方法					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標	
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			令和7年度			
	目標値	95	100	100		
			実績値	95	100	
			達成率	100%	100%	
	当該指標を選定した理由					
	公共施設整備完了が目的達成に寄与するため					
	目標値の設定根拠・算出方法					
	公共施設整備の進捗状況					

令和7年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	臨海部活性化推進事業（堺駅）	事業番号	017-065
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 令和7年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
国支出金		252,000	70,900		
府支出金					
市債		232,700	235,400	36,500	
その他 ()					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	24,811	64,609	74,667	43,546	2,074

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	予算				R6	予算		
14	大浜北町市有地活用事業公共施設等工事負担金	R6	予算	72,800	36,300	旅費	R6	予算	26	26
		R7	予算	0	0		R7	予算	27	27
	各種調査委託料	R6	予算	6,000	6,000	消耗品費等	R6	予算	16	16
		R7	予算	1,370	1,370		R7	予算	16	16
	訴訟及び調停委託料	R6	予算	300	300	保険料	R6	予算	43	43
		R7	予算	0	0		R7	予算	40	40
	手数料	R6	予算	400	400	光熱費	R6	予算	20	20
		R7	予算	0	0		R7	予算	20	20
	謝礼金	R6	予算	41	41	修繕費	R6	予算	400	400
		R7	予算	41	41		R7	予算	560	560

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

R6まで	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設整備工事及び民間施設整備工事の完了 ・歩行者通路、連絡橋等供用開始 ・民間による施設管理運営、事業モニタリングの実施
16 R7	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者通路、連絡橋等の維持管理 ・民間による施設管理運営 ・事業モニタリングの実施
R8以降	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者通路、連絡橋等の維持管理 ・民間による施設管理運営 ・事業モニタリングの実施

Ⅴ. 要求のポイント

17 要求のポイント	<p>「堺ランドデザイン2040」、「堺都心未来創造ビジョン」等に示す将来イメージ、取組の方向性等に基づき、堺旧港エリアの活性化の核として、大浜北町市有地活用事業を推進するため、公共施設の安全性の確保、快適性の向上のために必要な施設の維持管理等を行う。</p>
------------	--

令和7年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	臨海部整備推進事業			事業番号	017-055
担当部署名	建築都市	局	都心未来創造	部	ベイエリア推進担当

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立
		有	取組の方向性	③ベイエリアとの連携			
	寄与するKPI	有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数 (定期利用者を除く)			
		有	現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)	目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)	
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑭住み続けられるまちづくりを			
		有	取組	堺グランドデザイン2040に基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画 「堺グランドデザイン2040」、「堺市都市計画マスタープラン」、「堺都心未来創造ビジョン」、「大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン (案) /堺駅・堺旧港周辺活性化ビジョン (案)」、「堺臨海部再生・創造ビジョン」						
3	事業開始年度		平成 21 年度	点検対象年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		港湾法				
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		対象者：親水空間及び海浜を利用する市民及び市外からの来訪者 対象地域：堺浜周辺		対象数	単位	
					—	—	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		堺臨海部再生・創造ビジョンに示した、水質の改善による大阪湾の再生と環境負荷の軽減により、良好な生態系を生み出し海辺の環境改善を図る。さらに、自然環境の再生を進めることで、砂浜などに集まった人々の交流空間を創出し、人や生き物、環境に優しい魅力あふれる親水空間を提供する。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)		<ul style="list-style-type: none"> 堺浜における海辺の環境改善や活性化に向け、砂浜を造成・維持し、その水質浄化や自然回復の能力を検証する。また、砂浜の清掃、安全確認を行う。 堺泉北港堺 2 区先端緑地と一体的に管理している海とのふれあい広場において、施設の改修などを行う。 				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)		調査会社、土木請負業者				
10	公民連携・協働事業		企業等との協働による清掃活動				

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	種	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
	生物観測数	目標値	38	38	38	38	
		実績値	41	41			
達成率		108%	108%				
当該指標を選定した理由		生物多様性の保全・再生に向けた実験の場である堺浜自然再生ふれあいビーチにおいて、生物多様性に係る効果を測ることができるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		モニタリング調査					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	件	実績	実績見込み	目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	事故発生件数	目標値	0	0	0		
		実績値	0	0			
達成率		100%	100%				
当該指標を選定した理由		所管施設の維持管理・保守点検の効果を測ることができるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		賠償責任保険適用件数					

令和7年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	臨海部整備推進事業	事業番号	017-055
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和7年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)													
13	財 源 内 訳	項 目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度				
			決算		決算		決算		予算		予算要求				
		事業費 (a)	8,652		8,308		9,208		15,940		16,473				
		国支出金													
		府支出金													
		市債													
		その他 ()													
		受益者負担金(使用料、手数料等)													
		一般財源	8,652		8,308		9,208		15,940		16,473				
事業費の内訳		(単位：千円)													
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源		主な項目	年度		事業費		うち 一般財源	
		水質調査業務	R6	予算	7,143	7,143	手数料	R6	予算	394	394				
			R7	予算	7,280	7,280		R7	予算	394	394				
		ふれあいビーチ維持管理	R6	予算	2,992	2,992	修繕料	R6	予算	2,200	2,200				
			R7	予算	3,087	3,087		R7	予算	2,500	2,500				
		養浜工事	R6	予算	2,500	2,500		R6	予算						
			R7	予算	2,500	2,500		R7	予算						
		産業廃棄物処理業務	R6	予算	636	636		R6	予算						
			R7	予算	636	636		R7	予算						
		光熱水費	R6	予算	75	75		R6	予算						
			R7	予算	76	76		R7	予算						
債務負担行為		(単位：千円)													
15	期間	R ~ R				要求額									

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R6まで	<ul style="list-style-type: none"> ・海浜周辺整備 ・環境モニタリング ・海とのふれあい広場施設修繕・改修
	R7	<ul style="list-style-type: none"> ・海浜周辺整備 ・環境モニタリング ・海とのふれあい広場施設修繕・改修
	R8以降	<ul style="list-style-type: none"> ・海浜周辺整備 ・環境モニタリング ・海とのふれあい広場施設修繕・改修

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<p>・堺浜自然再生ふれあいビーチ及び海とのふれあい広場では、安全・快適性・利便性向上のために必要な施設の保全・改修等を行う。</p>
----	---------	---

令和7年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計			要求区分	その他
			事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	臨海部整備推進事業管理経費		事業番号	017-056
担当部署名	建築都市	局	都心未来創造	部
			ベイエリア推進担当	

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ~Attractive~	施策	(3)人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立	
		有	有	取組の方向性	③ベイエリアとの連携			
	堺市SDGs 未来都市計画	寄与するKPI	有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数(定期利用者を除く)			
		有	有	現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)	目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)	
2	関連計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(山)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.3
		有	有	取組	堺グランドデザイン2040に基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進			
3	事業開始年度	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		有	有	現状値	—	目標値	—	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	「堺グランドデザイン2040」、「堺市都市計画マスタープラン」、「堺都心未来創造ビジョン」、「大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン(案)/堺駅・堺旧港周辺活性化ビジョン(案)」、「堺臨海部再生・創造ビジョン」						
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	対象者：親水空間を利用する市民及び市外からの来訪者 対象施設：海とのふれあい広場、堺旧港親水護岸				対象数	単位	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	海とのふれあい広場及び堺旧港親水性護岸の維持管理により、快適な水辺空間を市民に提供する。 海とのふれあい広場：大阪湾の景観を背景に楽しめる自然豊かな緑地、バーベキューや海釣り、ドッグランなどのレクリエーションの場の提供 堺旧港親水護岸：市街地から気軽に、快適に海の風景を楽しみながら旧堺燈台や堺旧港を周遊できる親水空間の提供						
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	管理施設となる「海とのふれあい広場」及び「堺旧港親水護岸」において、市民に海辺の憩いの場を提供するため、除草・清掃・修繕・警備等の維持管理・保守点検を実施する。						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	警備会社、清掃維持管理業者						
10	公民連携・協働事業							

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	ha	実績	実績見込み	目標
				令和5年度	令和6年度	令和7年度
				目標値	32	32
	実績値	32	32			
達成率	100%	100%				
当該指標を選定した理由		海辺において、市民が憩うことのできる親水空間の提供状況を示すものであるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		当課管理の親水空間の面積				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	件	実績	実績見込み	目標
				令和5年度	令和6年度	令和7年度
				目標値	0	0
	実績値	0	0			
達成率	100%	100%				
当該指標を選定した理由		所管施設の維持管理・保守点検の効果を測ることができるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		賠償責任保険適用件数				

令和7年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	臨海部整備推進事業管理経費	事業番号	017-056
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 令和7年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)							
13	財 源 内 訳	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
			決算	決算	決算	予算	予算要求		
		事業費 (a)	17,874	19,271	19,659	34,456	32,499		
		国支出金	458						
		府支出金							
		市債							
		その他 ()	6,969	8,086	7,680	11,250	11,640		
		受益者負担金(使用料、手数料等)							
		一般財源	10,447	11,185	11,979	23,206	20,859		
事業費の内訳		(単位：千円)							
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源
		海ふれ広場維持管理	R6	予算 19,703	8,561	使用料及び賃借料	R6	予算 85	85
			R7	予算 20,483	8,951		R7	予算 107	107
		親水護岸管理業務	R6	予算 6,160	6,160	消耗品費	R6	予算 100	100
			R7	予算 6,456	6,456		R7	予算 130	130
		光熱水費	R6	予算 2,268	2,160		R6	予算	
			R7	予算 1,896	1,788		R7	予算	
		修繕料	R6	予算 6,000	6,000		R6	予算	
			R7	予算 3,297	3,297		R7	予算	
		保険料及び手数料	R6	予算 140	140		R6	予算	
			R7	予算 130	130		R7	予算	
債務負担行為		(単位：千円)							
15		期間	R ~ R			要求額			

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R6まで	<ul style="list-style-type: none"> 堺泉北港堺2区先端緑地を含む海とのふれあい広場の日常管理 堺旧港親水護岸全体の日常管理
	R7	<ul style="list-style-type: none"> 堺泉北港堺2区先端緑地を含む海とのふれあい広場の日常管理 堺旧港親水護岸全体の日常管理
	R8以降	<ul style="list-style-type: none"> 堺泉北港堺2区先端緑地を含む海とのふれあい広場の日常管理 堺旧港親水護岸全体の日常管理

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 堺泉北港堺2区先端緑地を含む海とのふれあい広場の日常管理を行う。 堺旧港親水護岸の日常管理を行う。
----	---------	--

令和7年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計			要求区分	その他
			事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	臨海部活性化推進事業 (ベイエリア)		事業番号	017-057
担当部署名	建築都市	局	都心未来創造	部
			ベイエリア推進担当	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ~Attractive~	施策	(3)人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③ベイエリアとの連携		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数 (定期利用者を除く)		
		寄与するKPI	有	現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)	目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)
2	関連計画	施策との関連	有	ゴール	ゴール(住み続けられるまちづくりを)		
		取組	堺市SDGs 未来都市計画				
3	事業開始年度	施策との関連	有	取組	堺市SDGs 未来都市計画		
		取組	堺市SDGs 未来都市計画				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	施策との関連	有	取組	堺市SDGs 未来都市計画		
		取組	堺市SDGs 未来都市計画				
5	事業の概要	施策との関連	有	取組	堺市SDGs 未来都市計画		
		取組	堺市SDGs 未来都市計画				
6	事業の概要	施策との関連	有	取組	堺市SDGs 未来都市計画		
		取組	堺市SDGs 未来都市計画				
7	事業の概要	施策との関連	有	取組	堺市SDGs 未来都市計画		
		取組	堺市SDGs 未来都市計画				
8	事業の概要	施策との関連	有	取組	堺市SDGs 未来都市計画		
		取組	堺市SDGs 未来都市計画				
9	事業の概要	施策との関連	有	取組	堺市SDGs 未来都市計画		
		取組	堺市SDGs 未来都市計画				
10	事業の概要	施策との関連	有	取組	堺市SDGs 未来都市計画		
		取組	堺市SDGs 未来都市計画				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	対象者	臨海部を訪れる市民及び市外からの来訪者			対象数	単位
		対象地域	堺旧港、堺2区、堺第7-3区、その他の臨海部			-	-
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	「堺市基本計画2025」や「堺市SDGs 未来都市計画」に示す将来イメージの実現、大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン(案)の推進に向け、堺旧港や堺浜の活性化、魅力創出に向けた取組を進め、立地特性を活かした賑わい交流のある、憩える魅力ある海辺空間、交流拠点の形成を図る。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p><堺旧港の活性化等></p> <ul style="list-style-type: none"> 堺旧港の水辺の魅力を活かした交流空間の形成に向け、親水護岸及びその後背地との一体的な利活用による交流機能の導入を行う。 堺旧港親水護岸をレクリエーションの場として実験的に開放した社会実験「乙姫の休日。」等を実施する。 堺旧港へのアクセスルートにおける歩行者空間の改善を行う。 大阪港湾局との共同事業により、万博期間中の堺旧港での浮桟橋の設置、運用を行う。 					
		委託業者					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	委託業者					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	目標値	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
				1,415	1,526	2,070	2,070
				1,862	3,156		
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	目標値	実績	実績見込み	目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
				132%	207%		
				132%	207%		
11	当該指標を選定した理由	ベイエリアの活性化に向けた取組が目的達成に寄与するため					
		目標値の設定根拠・算出方法 「乙姫の休日。」の来場者数 (雨の日や平日の日を除く)					
12	当該指標を選定した理由	大阪及び堺のベイエリアの活性化に向けた取組を推進するもの					
		目標値の設定根拠・算出方法 大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン作成・ビジョンに基づく取組推進					

令和7年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	臨海部活性化推進事業 (ハイエリア)	事業番号	017-057
-------	--------------------	------	---------

Ⅲ. 令和7年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)								
13	財源内訳	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
			決算	決算	決算	予算	予算要求			
		事業費 (a)	15,386	17,958	9,819	12,800	54,074			
		国支出金								
		府支出金								
		市債								
		その他 ()								
		受益者負担金(使用料、手数料等)								
		一般財源	15,386	17,958	9,819	12,800	54,074			
事業費の内訳		(単位：千円)								
14	事業内訳	主な項目	年度	事業費	うち一般財源	主な項目	年度	事業費	うち一般財源	
		堺旧港エリア等活性化推進業務 (一部現計化)	R6	予算	12,500	12,500		R6	予算	
			R7	予算	15,000	15,000		R7	予算	
		堺旧港交流空間創出事業負担金	R6	予算	0	0		R6	予算	
			R7	予算	24,000	24,000		R7	予算	
		海上交通関連負担金 (現計化)	R6	予算	0	0		R6	予算	
			R7	予算	15,000	15,000		R7	予算	
		その他	R6	予算	300	300		R6	予算	
			R7	予算	74	74		R7	予算	
			R6	予算				R6	予算	
			R7	予算				R7	予算	
債務負担行為		(単位：千円)								
15	期間	R ~ R	要求額							

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R6まで	①堺旧港交流空間創出事業者公募 ②交流空間創出社会実験「乙姫の休日。」 ③海上交通社会実験
	R7	①堺旧港交流空間創出民間施設設計・整備、堺旧港交流空間創出民間施設等運用開始 ②交流空間創出社会実験「乙姫の休日。」 ③万博期間中の海上交通
	R8以降	①②将来のエリアマネジメント促進に向けた取組を継続 ③定期航路に向けた取組

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	「堺市基本計画2025」、「堺グランドデザイン2040」、「堺都心未来創造ビジョン」等に示す将来イメージ、取組の方向性等に基づき、親水護岸及びその後背地との一体的な利活用による交流機能の導入、万博期間中の海上交通、社会実験の継続的な実施などにより、堺旧港のエリアの価値・認知度の向上、さらには持続的な活性化として地域住民や民間の参画・主体による取組へと広げる。
----	---------	--

令和7年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	総合交通体系調査			事業番号	017-012
担当部署名	建築都市	局	交通	部	交通政策担当

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立	
		有	取組の方向性	①多様な人が集う魅力的な都市空間の実現				
	寄与するKPI	有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）				
		有	現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)	目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)		
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール①住み続けられるまちづくりを				
	有	取組	堺グランドデザイン2040に基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進					
	寄与するKPI	有・無	指標名	—				
		無	現状値	—				
2	関連計画	堺市地域公共交通計画						
3	事業開始年度	令和 4 年度		点検対象年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	交通政策基本法（H25.12）、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（H19.5）、道路法、駐車場法、堺市建築物における駐車施設の附置等に関する条例						
事業の概要								
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市民等、駐車場整備地区内で1,000㎡以上の建築物				対象数	単位	
						806,860	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	広域的な公共交通網から市民の生活圏の交通に至る総合的な公共交通体系の形成や公共交通の利用促進など本市の公共交通のあり方について検討し、交通施策の具体化を図ることにより、持続可能な社会の実現に向けた公共交通体系を構築する。車中心から人中心の快適で魅力的な都市空間の形成のため、駐車施設の適正化を図る。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	持続可能な社会の実現に向けた公共交通体系を構築するため、公共交通ネットワークの形成、パーソナルリブ調査等の交通調査の実施、公共交通の利便性向上、交通施策や関連事業の推進に取り組む。						
		■R7年度の実施予定 ・物資流動調査における事前調査の実施、本体調査の全体計画及び調査内容の検討 ・堺市駐車場整備連絡協議会等の開催、駐車場整備地区、堺市駐車場整備計画、附置義務条例の改正 ・移動実態を踏まえた公共交通施策の検討						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	建設コンサルタント会社等						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
11 交通施策に係る調査・実施	件	目標値	1	1	2	2
		実績値	1	1		
		達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		持続可能な社会の実現に向けた公共交通体系を構築するため、社会情勢の変化等に対応した交通施策に係る調査・実施を指標として設定				
目標値の設定根拠・算出方法		広域に関する調査と地域に関する調査の両データに基づいて、施策立案を行うため。				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
12 駐車場整備計画の改定 附置義務条例の改正	件	目標値	1	1	1	
		実績値	1	1		
		達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		自動車から公共交通へ利用転換を促し持続可能な社会の実現に向けた公共交通体系の構築に向け、駐車施設の適正化に係る計画の策定・条例の改正を指標として設定				
目標値の設定根拠・算出方法		駐車場整備計画の改定・附置義務条例の改正に向けた検討を行うため。				

令和7年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	総合交通体系調査	事業番号	017-012
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和7年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)													
13	財 源 内 訳	項 目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度				
			決算		決算		決算		予算		予算要求				
		事業費 (a)	26,678		14,195		13,468		11,771		12,696				
		国支出金	8,892		2,640		3,666		1,700		1,500				
		府支出金													
		市債													
		その他 ()													
		受益者負担金(使用料、手数料等)													
		一般財源	17,786		11,555		9,802		10,071		11,196				
事業費の内訳		(単位：千円)													
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源		主な項目	年度		事業費		うち 一般財源	
			R6	予算	5,116	3,416		R6	予算						
		近畿圏交通実態調査データ整備・課題分析等委託料等	R7	予算	4,516	3,016		R7	予算						
			駐車場施策関連事業	R6	予算	6,435	6,435		R6	予算					
		R7		予算	3,180	3,180		R7	予算						
		公共交通施策検討委託料	R6	予算	0	0		R6	予算						
			R7	予算	5,000	5,000		R7	予算						
		その他の使用料及び賃借料等	R6	予算	220	220		R6	予算						
			R7	予算	0	0		R7	予算						
			R6	予算				R6	予算						
			R7	予算				R7	予算						
債務負担行為		(単位：千円)													
15	期間	R ~ R				要求額									

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R6まで	<ul style="list-style-type: none"> ・物流に関する課題の整理と調査体系の検討 ・駐車場施策の見直しに向けた関係機関等協議 ・駐車場整備地区、堺市駐車場整備計画、附置義務条例の改正について協議・調整
	R7	<ul style="list-style-type: none"> ・物資流動調査における事前調査の実施、本体調査の全体計画及び調査内容の検討 ・堺市駐車場整備連絡協議会等の開催、駐車場整備地区、堺市駐車場整備計画、附置義務条例の改正 ・移動実態を踏まえた公共交通施策の検討
	R8以降	<ul style="list-style-type: none"> ・物資流動調査の実施 ・データの基礎集計、現状分析、課題分析、物流施策の検討、施策メニューの提言、調査結果の利活用検討

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度より近畿圏物資流動調査（調査から結果分析等を含め5年間予定）を開始し、令和7年度は事前調査及び本体調査の計画・調査内容の検討を実施する。 ・駐車場整備地区、堺市駐車場整備計画、附置義務条例の改正に向け、堺市駐車場整備連絡協議会等の開催を実施する。 ・持続可能な公共交通ネットワークの形成と利用しやすい移動サービスの充実に向け、移動実態を踏まえた公共交通施策の検討を実施する。
----	---------	---

令和7年度 事務事業予算要求シート (1)

		要求区分	その他
一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	交通バリアフリー化整備促進事業		事業番号 017-015
担当部署名	建築都市	局 交通	部 公共交通担当

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(3) 市民の参加と協働による地域福祉の充実
		有	取組の方向性	④面的・一体的なバリアフリー化の推進			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑪住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.7	
		有	取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	堺市地域公共交通計画					
3	事業開始年度	平成 5 年度		点検対象年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市鉄道駅舎バリアフリー化設備整備事業補助金交付要綱 堺市地下高速鉄道駅舎バリアフリー化設備整備事業補助金交付要綱					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民 (鉄道利用者 (令和4年度堺市内鉄道駅一日平均利用者数))	対象数	608,410	単位	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	障害者、高齢者など鉄道利用者の施設利用上の利便性及び安全性の向上を図るため、鉄道事業者によるバリアフリー化を促進する					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	鉄道事業者が実施するホームからの転落や列車との接触事故防止を目的とした可動式ホーム柵等、駅バリアフリー化設備整備事業等に対して、事業費を一部補助することにより、バリアフリー化を促進する。 南海高野線中百舌鳥駅可動式ホーム柵整備 (令和7～9年度) ・令和7年度工事着手 ・令和9年度工事完了予定					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	南海電気鉄道株式会社					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和5年度	実績見込み 令和6年度	目標 令和7年度	目標 点検対象年度 令和7年度
	バリアフリー化設備整備駅舎数	駅	目標値	1	1	0	0
			実績値	1	1		
			達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		バリアフリー化設備の整備を目的としている為、工事が完了した駅舎数を成果指標とする					
目標値の設定根拠・算出方法		整備予定駅舎数 (R7年度はホーム柵の製作のみで設置はないため0とする)					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和5年度	実績見込み 令和6年度	目標 令和7年度	
	バリアフリー化設備整備補助実施件数	件	目標値	2	1	1	
			実績値	2	1		
			達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		補助の実施によりバリアフリー化設備整備の促進が図られるため					
目標値の設定根拠・算出方法		補助予定件数					

令和7年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	交通バリアフリー化整備促進事業	事業番号	017-015
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 令和7年度予算要求額

(単位：千円)															
事業コスト															
	項目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度					
		決算		決算		決算		予算		予算要求					
事業費 (a)		58,693		0		61,529		65,450		78,000					
13	財 源 内 訳	国支出金													
		府支出金													
		市債				46,000		49,000		58,500					
		その他 ()													
		受益者負担金(使用料、手数料等)													
		一般財源		58,693				15,529		16,450		19,500			
(単位：千円)															
事業費の内訳															
	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源			主な項目	年度		事業費		うち 一般財源	
		R6	予算	事業費	うち 一般財源	R6	予算			事業費	うち 一般財源				
14	事 業 費 内 訳	可動式ホーム柵等整備補助 (南海高野線中百舌鳥駅)		R6	予算	65,450	16,450			R6	予算				
				R7	予算	78,000	19,500			R7	予算				
				R6	予算					R6	予算				
				R7	予算					R7	予算				
				R6	予算					R6	予算				
				R7	予算					R7	予算				
				R6	予算					R6	予算				
				R7	予算					R7	予算				
				R6	予算					R6	予算				
				R7	予算					R7	予算				
		(単位：千円)													
		債務負担行為													
15	期間	R7 ~ R9				要求額	123,000								

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R6まで	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度に南海高野線中百舌鳥駅4番線可動式ホーム柵整備完了 ・R6年度に南海高野線中百舌鳥駅3番線可動式ホーム柵整備完了予定
	R7	<ul style="list-style-type: none"> ・南海高野線中百舌鳥駅可動式ホーム柵整備着手
	R8以降	<ul style="list-style-type: none"> ・南海高野線中百舌鳥駅可動式ホーム柵整備完了予定 ・泉北高速鉄道各駅可動式ホーム柵整備予定

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・南海高野線中百舌鳥駅可動式ホーム柵の整備にかかるホーム柵の製作等に対する補助見込み額を要求 ・債務負担行為 (R7~R9) で南海高野線中百舌鳥駅可動式ホーム柵の整備に対する補助見込み額を要求
----	---------	--

令和7年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	バス運行事業 (路線バス網再編等対策補助事業)			事業番号	017-020
担当部署名	建築都市	局	交通	部	公共交通担当

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築
		寄与するKPI	有・無	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	有・無	現状値	—	目標値	—
2 関連計画		堺市地域公共交通計画					
3 事業開始年度		平成 18 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4 実施根拠 (根拠法令、条例等)		堺市路線バス網再編等対策補助金交付要綱					
事業の概要							
5 事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁					
6 事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		市民 (当該路線バス利用者 (令和7年度延べ年間利用者数目標値))				対象数	単位
						143,000	人
7 事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		利用者の減少等に伴いバス事業者から退出意向のあったバス路線のなかで、市民の日常生活に必要な不可欠な路線について、本市が運行経費の一部を補助することで維持確保を図る					
8 事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		補助要件に該当するバス路線について、運行経費の一部を補助 (畑鉢ヶ峯線 (2系統)、美木多線 (1系統))					
9 主な支出先 (委託・補助金・負担金等)		南海バス株式会社					
10 公民連携・協働事業		—					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	人	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
				目標値	136,000	143,000	143,000
				実績値	142,788	143,000	
達成率		105%	100%				
当該指標を選定した理由		バス利用者数が増加するほど、バス路線の維持に寄与するため					
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績の同水準					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	回	実績	実績見込み	目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
				目標値	54	54	54
				実績値	54	54	
達成率		100%	100%				
当該指標を選定した理由		運行回数を維持することにより、バスの利用促進を図るため					
目標値の設定根拠・算出方法		現行の平日運行回数					

令和7年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	バス運行事業（路線バス網再編等対策補助事業）	事業番号	017-020
-------	------------------------	------	---------

Ⅲ. 令和7年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)										
13	財 源 内 訳	項 目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			決算		決算		決算		予算		予算要求	
		事業費 (a)	16,036		21,534		21,544		21,553		24,868	
		国支出金										
		府支出金										
		市債										
		その他 ()										
		受益者負担金(使用料、手数料等)										
		一般財源	16,036		21,534		21,544		21,553		24,868	
事業費の内訳		(単位：千円)										
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	
			R6	予算	21,553	21,553		R6	予算			
		路線バス網再編等対策補助金	R7	予算	24,868	24,868		R7	予算			
			R6	予算				R6	予算			
			R7	予算				R7	予算			
			R6	予算				R6	予算			
			R7	予算				R7	予算			
			R6	予算				R6	予算			
			R7	予算				R7	予算			
			R6	予算				R6	予算			
			R7	予算				R7	予算			
債務負担行為		(単位：千円)										
15	期間	R ~ R				要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
16	R6まで 平成18年度 路線バス網再編等対策補助事業の開始
	R7 事業の継続実施による路線の維持確保
	R8以降 事業の継続実施による路線の維持確保

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント 補助対象経費から国庫補助金を差し引いた見込み額を要求
----	---------------------------------------

令和7年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	バス運行事業 (美原区域路線バス運行事業)			事業番号	017-021
担当部署名	建築都市	局	交通	部	公共交通担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画	堺市地域公共交通計画					
3	事業開始年度	平成 17 年度	点検対象年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	—					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民 (当該路線バス利用者 (令和7年度延べ年間利用者数目標値))	対象数	819,000	単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	美原区域住民の最寄りの鉄道駅への移動手段を確保することによって、住民福祉の一層の向上を図る。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>本市とバス事業者 (南海バス及び近鉄バス) が協定を締結し、バス事業者が下記市内鉄道駅と美原区内を結び4路線を運行している。本市は運行経費から運賃収入や国庫補助金等を控除した差額を負担している。</p> <p>○美原金岡線 地下鉄新金岡駅前～美原区役所前 (南海バス) 平成17年2月1日運行開始 約13.8km 運賃200～380円 美原→新金岡37便、新金岡→美原37便/美原→新金岡34便、新金岡→美原34便 (平日/土休)</p> <p>○美原初芝線 初芝駅前～美原区役所前 (南海バス) 平成17年2月1日運行開始 約10.8km 運賃200～280円 美原→初芝37便、初芝→美原36便/美原→初芝34便、初芝→美原32便 (平日/土休)</p> <p>○北野田さつき野線 北野田駅前～さつき野東 (近鉄バス) 平成17年5月30日運行開始 約11.6km 運賃200～350円 38/25便 (平日/土休)</p> <p>○北野田多治井線 北野田駅前～多治井循環 (南海・近鉄バス 共同運行) 平成18年9月25日運行開始 約13.6km 運賃200～330円 34便 (全日)</p>				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	南海バス株式会社、近鉄バス株式会社				
10	公民連携・協働事業	民間路線バス事業者と共同事業として実施し、本市の負担を軽減している。				

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標 (目的の達成状況を測定)	単位	人	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度	
				目標値	757,000	775,000	820,000	820,000
				実績値	774,614	819,001		
達成率		102%	106%					
当該指標を選定した理由		バス利用者数が増加するほど、バス路線の維持に寄与するため。						
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績と同水準						
12	活動指標 (成果を上げるための手段)	単位	回	実績	実績見込み	目標		
				令和5年度	令和6年度	令和7年度		
				目標値	246	246	246	
				実績値	246	246		
達成率		100%	100%					
当該指標を選定した理由		運行回数を維持することにより、バスの利用促進を図るため。						
目標値の設定根拠・算出方法		現行の1日平均運行回数を維持。平日257回と土休日218回として加重平均で算出。						

令和7年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	バス運行事業（美原区域路線バス運行事業）	事業番号	017-021
-------	----------------------	------	---------

Ⅲ. 令和7年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)										
13	財 源 内 訳	項 目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			決算		決算		決算		予算		予算要求	
		事業費 (a)	154,112		110,536		113,481		109,724		139,668	
		国支出金										
		府支出金										
		市債										
		その他 ()										
		受益者負担金(使用料、手数料等)										
		一般財源	154,112		110,536		113,481		109,724		139,668	
事業費の内訳		(単位：千円)										
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	
			R6	予算				R6	予算			
		美原区域路線バス運行負担金	R6	予算	109,603	109,603		R6	予算			
			R7	予算	139,547	139,547		R7	予算			
		停留所関連工事	R6	予算	121	121		R6	予算			
			R7	予算	121	121		R7	予算			
			R6	予算				R6	予算			
			R7	予算				R7	予算			
			R6	予算				R6	予算			
			R7	予算				R7	予算			
			R6	予算				R6	予算			
			R7	予算				R7	予算			
債務負担行為		(単位：千円)										
15	期間	R ~ R				要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R6まで	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度 美原区域路線バス運行開始 ・平成25年度より国庫補助金を活用し、堺市の負担を軽減しながら事業を継続 ・令和4年11月より美原金岡線、美原初芝線において夜間時間帯を増便し運行 ・令和5年4月より美原金岡線において朝時間帯を増便し運行
	R7	美原区域路線バスの運行を継続、利用実態に合わせた便数を検討・実施
	R8以降	美原区域路線バスの運行を継続、利用実態に合わせた便数を検討・実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・運行経費から運賃収入や国庫補助金等を差し引いた見込み額等を要求
----	---------	--

令和7年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	バス運行事業 (堺市立総合医療センター線運行事業)			事業番号	017-068
担当部署名	建築都市	局	交通	部	公共交通担当

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
2	事業内容	施策との関連	有	ゴール	ゴール①住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.2
		取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
3	事業内容	指標名	—				
		現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	堺市地域公共交通計画				
3	事業開始年度	令和 6 年度	点検対象年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	—				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民 (当該路線バス利用者 (令和7年度延べ年間利用者数目標値))	対象数	121,000	単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	鉄道駅から堺市立総合医療センターへの移動手段を確保するため、市民生活上必要であり定着しているバス路線を維持し、もって住民福祉の一層の向上を図ることを目的とする。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p>本市と病院機構、バス事業者 (南海バス) が協定を締結し、バス事業者が堺市立総合医療センター線の下記 2 系統を運行している。本市は運行経費から病院機構負担額、運行収入等を控除した差額を負担する。</p> <p>○111系統 (中もず駅前～堺市立総合医療センター前)</p> <p>○112系統 (石津川駅前～堺市立総合医療センター前)</p>				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	南海バス株式会社				
10	公民連携・協働事業	病院機構、民間路線バス事業者との共同事業として実施				

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	人	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
				目標値	81,000	121,000	121,000
	医療センター線路線バス年間延べ利用者数	実績値	81,000	120,254			
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	回	実績	実績見込み	目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
				目標値	46	46	
	1日平均運行回数 (往復合わせる)	実績値	46	46			
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	回	達成率	100%		
				達成率	—	100%	
当該指標を選定した理由		バス利用者数が増加するほど、バス路線の維持に寄与するため					
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績と同水準					
当該指標を選定した理由		運行回数を維持することにより、バスの利用促進を図るため					
目標値の設定根拠・算出方法		現行の運行回数 (平日: 46回、土休日: 46回)					

令和7年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	バス運行事業（堺市立総合医療センター線運行事業）	事業番号	017-068
-------	--------------------------	------	---------

Ⅲ. 令和7年度予算要求額

(単位：千円)															
事業コスト															
	項目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度					
		決算		決算		決算		予算		予算要求					
	事業費 (a)	0		0		0		11,000		10,272					
13	財 源 内 訳	国支出金													
		府支出金													
		市債													
		その他 ()													
		受益者負担金(使用料、手数料等)													
		一般財源							11,000		10,272				
(単位：千円)															
事業費の内訳															
	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源			主な項目	年度		事業費		うち 一般財源	
		R6	予算	事業費	うち 一般財源	R6	予算			事業費	うち 一般財源				
14	事 業 費 内 訳	堺市立総合医療センター線運行 負担金	R6	予算	11,000	11,000				R6	予算				
			R7	予算	10,272	10,272				R7	予算				
			R6	予算						R6	予算				
			R7	予算						R7	予算				
			R6	予算						R6	予算				
			R7	予算						R7	予算				
			R6	予算						R6	予算				
			R7	予算						R7	予算				
			R6	予算						R6	予算				
			R7	予算						R7	予算				

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開							
16	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">R6まで</td> <td>・当該路線の運行費の一部を負担する方法を運営費負担金の拠出から協定締結による負担金での支払いに見直し</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>・堺市立総合医療センター線のバス運行を継続、利用実態に合わせた便数を検討・実施</td> </tr> <tr> <td>R8以降</td> <td>・堺市立総合医療センター線のバス運行を継続、利用実態に合わせた便数を検討・実施</td> </tr> </table>	R6まで	・当該路線の運行費の一部を負担する方法を運営費負担金の拠出から協定締結による負担金での支払いに見直し	R7	・堺市立総合医療センター線のバス運行を継続、利用実態に合わせた便数を検討・実施	R8以降	・堺市立総合医療センター線のバス運行を継続、利用実態に合わせた便数を検討・実施
R6まで	・当該路線の運行費の一部を負担する方法を運営費負担金の拠出から協定締結による負担金での支払いに見直し						
R7	・堺市立総合医療センター線のバス運行を継続、利用実態に合わせた便数を検討・実施						
R8以降	・堺市立総合医療センター線のバス運行を継続、利用実態に合わせた便数を検討・実施						

Ⅴ. 要求のポイント

17	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">要求のポイント</td> <td>運行経費から病院機構負担、運行収入等を差し引いた見込み額を要求</td> </tr> </table>	要求のポイント	運行経費から病院機構負担、運行収入等を差し引いた見込み額を要求
要求のポイント	運行経費から病院機構負担、運行収入等を差し引いた見込み額を要求		

令和7年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	密集住宅市街地整備事業（新湊地区）			事業番号	017-023
担当部署名	建築都市	局	都市整備	部	区画整理担当

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		寄与するKPI	無	取組の方向性	—	—	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—	—	—
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール①住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.5,11.b
		取組	有	取組	密集市街地対策の推進		
3	事業開始年度	有・無	指標名	—	—	—	
		無	現状値	—	目標値	—	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	住生活基本法、密集市街地における防災街区の整備の促進に関する法律、都市計画法					
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、地域団体・市民					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	新湊地区住民と関係権利者				対象数	単位
						約6400	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	密集市街地において、不足する道路や公園などの公共施設整備と老朽木造住宅等の建替えを促進することにより、防災性の向上と住環境の改善を図る。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	新湊地区において、主要生活道路の拡幅等整備、避難路の確保を行う。また、老朽木造賃貸住宅の良質な賃貸住宅への建替え、木造住宅の除却に要する費用の一部を補助することにより、建替えを促進する。					
		※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	工事 (工事請負業者)、補助金 (新湊地区住民や関係権利者)					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	密集市街地である「新湊地区」の居住環境の改善及び防災性の向上						
	当該目標を設定した理由	国の住生活基本計画に基づく「地震時等に著しく危険な密集市街地」については、令和5年3月に解消されたものの、依然として、老朽木造住宅や連棟長屋が建ち並び避難路等の確保が困難な個所が残る新湊地区では、地震時等において延焼拡大による大規模火災、道路閉塞による地区外への避難路の喪失が懸念されることから不足する道路などの公共施設整備、老朽木造住宅の建替促進など、防災性の向上を図るため。					
目標に対する実績							
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標		
	主要生活道路・避難路の整備延長	ha	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
			目標値	55	55	55	
			実績値	0	47		
達成率	0%	85%					
当該指標を選定した理由		主要生活道路の拡幅整備を行うことにより避難路が確保されるなど防災性の向上が見込めるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		主要生活道路の拡幅整備					

令和7年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	密集住宅市街地整備事業（新湊地区）	事業番号	017-023
-------	-------------------	------	---------

Ⅲ. 令和7年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)													
13	財 源 内 訳	項 目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度				
			決算		決算		決算		予算		予算要求				
		事業費 (a)	61,351		258,116		294,534		165,140		188,268				
		国支出金	6,511		106,835		121,077		25,006		30,808				
		府支出金	1,482		23,678										
		市債			3,300		33,900		15,300		111,600				
		その他 ()	18		52		130,045		50		44				
		受益者負担金(使用料、手数料等)													
		一般財源	53,340		124,251		9,512		124,784		45,816				
事業費の内訳		(単位：千円)													
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源		主な項目	年度		事業費		うち 一般財源	
		不動産鑑定料	R6	予算	1,983	1,983			元湊小学校校舎解体外工事	R6	予算	0	0		
			R7	予算	1,235	1,235				R7	予算	124,000	1		
		測量業務	R6	予算	3,900	3,900			道路拡幅等用地費	R6	予算	5,234	19		
			R7	予算	2,600	2,600				R7	予算	3,918	59		
		支障物件調査費	R6	予算	8,950	8,950			老朽木造住宅除却等補助	R6	予算	19,200	9,600		
			R7	予算	7,800	2,550				R7	予算	9,600	4,800		
		元湊小学校校舎解体外工事設計業務	R6	予算	7,000	7,000			物件移転補償費	R6	予算	4,613	8		
			R7	予算	5,000	5,000				R7	予算	2,100	50		
		道路拡幅工事	R6	予算	15,600	6,000			その他 (消耗品など)	R6	予算	98,660	87,324		
			R7	予算	2,500	50				R7	予算	29,515	29,471		
債務負担行為		(単位：千円)													
15	期間	R7 ~ R8				要求額	234,000								

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R6まで	・主要生活道路等の道路整備、用地取得及び物件補償
	R7	・主要生活道路等の道路整備、用地取得及び物件補償 ・元湊小学校跡地の校舎等の解体ほか
	R8以降	・主要生活道路等の道路整備、用地取得及び物件補償 ・元湊小学校跡地の校舎等の解体ほか

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	主要生活道路等の整備に必要な道路整備費及び用地取得費・物件移転補償費、元湊小学校跡地にある校舎等の解体費及び老朽木造住宅建替促進による老朽木造住宅除却補助金を要求する。
----	---------	--

令和7年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計	要求区分	その他
	事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	都市再開発等推進事業	事業番号 017-060
担当部署名	建築都市局 局 都市整備部 部	中百舌鳥・拠点整備担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(4) 成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出	
		有	取組の方向性	③都市拠点にふさわしい駅前空間の創出と交通利便性の向上				
		寄与するKPI	有・無	指標名	イノベーション創出につながる事業数			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール①住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3	
		有	取組	堺ランドデザイン2040に基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
無	現状値	—		目標値	—			

2	関連計画	堺ランドデザイン2040、堺市都市計画マスタープラン、堺市立地適正化計画、中百舌鳥駅周辺活性化基本方針		
3	事業開始年度	令和 1 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	都市計画法、都市再開発法		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、民間企業、地域団体、その他 (NAKAMOZUイノベーションコア創出コンソーシアム)		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	民間企業、地権者、駅周辺住民・駅利用者	対象数	単位
			-	-
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	上位計画で位置づけられた都市拠点や駅前拠点を実現するため、民間活力を生かした駅周辺の都市機能の更新等により、利便性や快適性の向上と、地域の活性化をめざす。中百舌鳥エリアでは、大学や産業支援機関、スタートアップ企業等が集積し、ビジネス・学術での交流機会が創出され、産学官連携等による新たな技術やビジネスが生まれるイノベーション創出拠点の形成をめざす。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> 上位計画に位置づけられた中百舌鳥イノベーション創出拠点を實現するため、中百舌鳥駅前北側広場の再編や産業支援機関等が集積している北部エリアの有効活用等の取組を進める。 中百舌鳥エリアがイノベーション創出のリーディングエリアとして発展させるため、産学官からなるNAKAMOZUイノベーションコア創出コンソーシアムの運営を支援する。 津久野駅周辺の都市機能の更新を図るため、駅周辺の一体的な再整備の検討、機運醸成や合意形成などの地元主体の活動を支援する。 		
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	コンサルタント、コンソーシアム		
10	公民連携・協働事業	産学官によるコンソーシアムの設立 ・地域団体との連携		

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度	
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度	
	市有地等の利活用の件数	件	目標値	1	1	2	2
			実績値	1	1		
達成率			100%	100%			
	当該指標を選定した理由	駅周辺の都市機能の更新に向け、実際に動かしていくことが本事業の目的につながるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	駅周辺における市有地等の利活用に向け、具体的に動き出した件数を算出					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標		
			令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	実施主体となる団体との協議会等への出席回数	回	目標値	5	5	5	
			実績値	7	5		
達成率			140%	100%			
	当該指標を選定した理由	駅周辺の都市機能更新を図るためには、関係者の意向のバランスを取りながら、協議を重ね、調整し、進める必要があるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	実施主体となる団体との協議会等へ本市が出席した回数を算出					

令和7年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	都市再開発等推進事業	事業番号	017-060
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 令和7年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	26,294	61,245	10,429	94,102	128,964
	国支出金	4,654	17,044	4,000		
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	21,640	44,201	6,429	94,102	128,964

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	R7	予 算	予 算		R6	R7	予 算	予 算
14 事 業 費 内 訳	拠点周辺における都市機能更新に関する調査検討支援業務等	R6	予 算	74,903	74,903		R6	予 算		
		R7	予 算	79,800	79,800		R7	予 算		
	事業者選定委員会・懇話会委員報酬	R6	予 算	195	195		R6	予 算		
		R7	予 算	164	164		R7	予 算		
	負担金、補助金等	R6	予 算	19,004	19,004		R6	予 算		
		R7	予 算	49,000	49,000		R7	予 算		
		R6	予 算				R6	予 算		
		R7	予 算				R7	予 算		
		R6	予 算				R6	予 算		
		R7	予 算				R7	予 算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

R6まで	駅周辺の都市機能の更新に向け、基本方針・基本計画の策定、事業者の公募、地元支援などを行うほか、中百舌鳥エリアにおいてはNAKAMOZUイノベーションコア創出コンソーシアムの設立及びイノベーション創出拠点の形成に向けたロードマップ作成、土地活用の検討などを行った。
16 R7	駅周辺の都市機能の更新に向け、引き続き、中百舌鳥駅前北側広場の再編に向けた検討や民間施設整備を実施する事業者の選定、地元支援などに取り組むほか、NAKAMOZUイノベーションコア創出コンソーシアムの運営を支援する。
R8以降	駅周辺の都市機能の更新に向け、税源の涵養にも意識しながら、それぞれの地区の事業進捗状況に応じた取組を実施する。

Ⅴ. 要求のポイント

17 要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・「中百舌鳥駅周辺活性化基本方針」等に示した将来像、取組の方向性に基づき、中百舌鳥駅前北側広場の再編の検討や北部エリアの有効活用等の取組に向けた検討を実施する。 ・NAKAMOZUイノベーションコア創出コンソーシアムの運営支援に要する負担金を要求する。 ・津久野駅前の課題解決を駅周辺の一体的な再整備により解決を図るために、地元の機運醸成や合意形成などの活動支援及び助成、都市機能更新に向けた検討を実施する。
------------	--

令和7年度 事務事業予算要求シート (1)

		要求区分	その他			
一般会計			事務事業分類	A 一般事務事業		
事務事業名	住宅専門家相談事業		事業番号	017-030		
担当部署名	建築都市	局	住宅	部	住宅施策推進	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	目標値	—
			無	取組	—	ターゲット	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	さかい 魅力安心・住まいプラン (第6章 空家等対策計画) 堺市マンション管理適正化推進計画					
3	事業開始年度	平成 16 年度		点検対象年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	空家等対策の推進に関する特別措置法、マンションの管理の適正化の推進に関する法律、マンションの建替え等の円滑化に関する法律等					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	空き家所有者、管理組合役員、区分所有者、市内在住の方など	対象数	427,800	単位	戸	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	住宅専門家相談を通じ、住宅関係諸問題 (空き家、マンションを含む) について、専門的見地から相談に応じることにより、安全で良質な住宅ストックの形成に資すること、及び市民の安全で安心な暮らしを確保することを目的とする。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	毎月無料で弁護士・司法書士・宅地建物取引士・マンション管理士による専門家相談を実施している。市は、相談員の派遣に係る経費 (報償費、旅費) を支出している。					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	大阪弁護士会・大阪司法書士会					
10	公民連携・協働事業	宅地建物取引士・マンション管理士の相談は民間の団体の無償協力による実施					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	%	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度	
				目標値	90	90	90	90
				実績値	99	95		
				達成率	110%	106%		
	当該指標を選定した理由	相談会参加者の満足度が高いほど、相談者の悩みの解消に効果があったと考えられるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	相談者へのアンケート結果 (「役立った、少し役立った」の割合)						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	回	実績	実績見込み	目標		
				令和5年度	令和6年度	令和7年度		
				目標値	42	48	48	
				実績値	39	47		
				達成率	93%	98%		
	当該指標を選定した理由	専門家による相談を受ける機会が多いほど、早期の住宅問題の解決につながるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	相談会実施予定日数						

令和7年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	住宅専門家相談事業	事業番号	017-030
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和7年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13	事業費 (a)	490	616	617	528	528
	財源内訳					
	国支出金	220	277	285	237	237
	府支出金				0	
	市債				0	
	その他 ()				0	
	受益者負担金(使用料、手数料等)				0	
	一般財源	270	339	332	291	291

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度	事業費		主な項目	年度	事業費	
			事業費	うち一般財源			事業費	うち一般財源
14	謝礼金	R6	予算	492		R6	予算	
		R7	予算	492	271	R7	予算	
	費用弁償 (その他)	R6	予算	36	20	R6	予算	
		R7	予算	36	20	R7	予算	
		R6	予算			R6	予算	
		R7	予算			R7	予算	
		R6	予算			R6	予算	
		R7	予算			R7	予算	
		R6	予算			R6	予算	
		R7	予算			R7	予算	

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

	R6まで	<ul style="list-style-type: none"> ・H16年度 住宅専門家相談開始 ・H29年度 活用・相続相談追加 ・R4年度 管理相談開催日数増加
16	R7	事業の継続
	R8以降	事業の継続

Ⅴ. 要求のポイント

	17 要求のポイント	<p>近年、人口減少や既存住宅の老朽化、社会的ニーズの変化等により、適切に管理が行われていない住宅が増加してきている。このような中、住宅関係の相談希望者に対し、法律相談等の専門家相談を実施することにより、住宅トラブル解決の支援及び空き家等の利活用やマンション管理適正化を促進することを目的とする。</p> <p>今後、住宅の老朽化に伴う相談、空き家関係の相談、分譲マンション関係の相談が増加すると考えられるため、相談会開催に要する費用を要求する。</p>
--	------------	---

令和7年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
事務事業名	分譲マンション管理・再生促進事業	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	建築都市 局 住宅 部	事業番号	017-031
			住宅施策推進課 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—	
		無	取組の方向性	—	—	—	—	
	堺市SDGs 未来都市計画	寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—	—
		無	現状値	—	目標値	—	—	—
	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	—	—
		無	取組	—	—	—	—	—
寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—	—	—	
	無	現状値	—	目標値	—	—	—	
2	関連計画 堺市マンション管理適正化推進計画							
3	事業開始年度 平成 13 年度		点検対象年度 令和 7 年度					
4	実施根拠 (根拠法令、条例等) マンションの管理の適正化の推進に関する法律 マンションの建替え等の円滑化に関する法律							

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等) 本庁						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数) 市内の分譲マンション (分譲マンション建替え支援制度は、築25年以上かつ区分所有者10人以上の分譲マンション)				対象数	単位	
					約600	団地	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態) 市内の分譲マンションに対して、管理状況の把握を行い、マンション管理計画認定制度の取得や管理の重要性について啓発し、管理組合の自律的な運営による適正な管理を促進することを目的とする。 また、分譲マンションの建替えを行おうとする管理組合に対して、建替えに至る合意形成に係る費用の一部を補助することにより、マンションの建替えを促進し、良好な住環境の形成を図ることを目的とする。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
	<ul style="list-style-type: none"> ・分譲マンション管理セミナー…管理計画認定制度の取得や管理不全に陥らないように管理の重要性について啓発を行う。 ・分譲マンション専門家派遣事業…管理不全の兆候があるマンションへの支援として、モデル的に、マンション管理士を3年間、現地に派遣し、管理適正化に向けた支援を行う。 ・分譲マンション建替え支援制度…分譲マンションの建替えを行おうとする管理組合に対して、合意形成の段階に応じてアドバイザーの活用のために要する費用の一部を補助する。 ・STEP1 (補助上限額 50万円) …管理組合に建替えの検討を発足させるための合意形成活動へ補助 ・STEP2 (補助上限額250万円) …建替え推進決議に向けた合意形成活動へ補助 ・STEP3 (補助上限額500万円) …建替え決議に向けた合意形成活動へ補助 						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等) 管理組合、一般社団法人大阪府マンション管理士会						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
			目標値	5	8	8
			実績値	5	5	—
			達成率	100%	—	—
	当該指標を選定した理由 マンションの管理適正化及び建替えを促進し、良好な住環境の形成を図るため。なお、R6年度までは分譲マンション建替え支援制度、マンション管理計画認定制度であったが、R7年度からは分譲マンション専門家派遣事業も含める。					
	目標値の設定根拠・算出方法 マンション管理計画認定制度、分譲マンション建替え支援制度、分譲マンション専門家派遣事業を活用したマンション数					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標	—
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	—
			目標値	500	500	500
			実績値	552	572	—
			達成率	110%	114%	—
	当該指標を選定した理由 各事業の周知を行い、これらの制度を活用した団地数及び相談件数を増やすため					
	目標値の設定根拠・算出方法 堺市内の分譲マンション数					

令和7年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	分譲マンション管理・再生促進事業	事業番号	017-031
-------	------------------	------	---------

Ⅲ. 令和7年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	2,500	125	10,354	9,231	9,231
		国支出金	1,125	56	1,601	4,153	4,153
		府支出金					
		市債					
		その他 ()					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	1,375	69	8,753	5,078	5,078

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R6	予算				R6	予算		
		分譲マンション建替え支援制度	R6	予算	8,000	4,400		R6	予算		
			R7	予算	8,000	4,400		R7	予算		
		分譲マンション専門家派遣事業	R6	予算	1,188	654		R6	予算		
			R7	予算	1,188	654		R7	予算		
		分譲マンション管理セミナー	R6	予算	43	24		R6	予算		
			R7	予算	43	24		R7	予算		
			R6	予算				R6	予算		
			R7	予算				R7	予算		
			R6	予算				R6	予算		
			R7	予算				R7	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R6まで	R元年度より分譲マンション管理セミナー開始 H28年度、R3年度、R5年度 分譲マンション実態調査 R4年度 マンションの管理の適正化の推進に関する法律改正、堺市マンション管理適正化推進計画策定、マンション管理認定制度開始、R6年度 分譲マンション専門家派遣事業開始、建替えに向けた合意形成の推進【継続実施】
	R7	マンション管理に対する支援（分譲マンション管理セミナー、マンション管理計画認定制度、分譲マンション専門家派遣事業）【継続実施】 建替えに向けた合意形成の推進【継続実施】
	R8以降	マンション管理に対する支援（分譲マンション管理セミナー、マンション管理計画認定制度、分譲マンション専門家派遣事業）【継続実施】 建替えに向けた合意形成の推進【継続実施】

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<p>R4年度に堺市マンション管理適正化推進計画を策定し、「マンション管理の状況の継続的な把握」・「管理組合の自律的な維持管理の促進」・「管理不全を未然に防ぐための管理組合への能動的な支援」を基本方針として、市内のマンションの管理不全を未然に防ぎ、管理組合の自律的な運営による適正な管理を促進することを目的とする。</p> <p>引き続き、分譲マンション専門家派遣事業に要する費用を要求する。</p> <p>分譲マンションの建替えを行おうとする者に対して、建替えに至る合意形成に係る費用の一部を補助することにより、マンション建替えを促進し、良好な住環境の形成を図ることを目的とする。今後、マンションの老朽化等に伴い、建替えの合意形成を図るため、新たに分譲マンション建替え支援制度を活用すると見込まれる団地分の補助額を要求する。</p>
----	---------	---

令和7年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計			要求区分	その他
			事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	空き家対策推進事業		事業番号	017-061
担当部署名	建築都市	局	住宅	部 住宅施策推進 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	④空家等対策の推進			
		無	指標名	—				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.5,11.b	
		寄与するKPI	有	取組	「自助」「共助」「公助」の役割分担に基づく災害対策の推進			
		無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	さかい 魅力・安心 住まいプラン (第6章 空家等対策計画)					
3	事業開始年度	令和 1 年度	点検対象年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	空家等対策の推進に関する特別措置法					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市内の住宅及びその所有者等	対象数	427,800	単位	戸	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	空き家化の予防や利活用等の対策を推進し、安全で良質な住宅ストックの形成に資すること、及び市民の安全で安心な暮らしを確保することを目的とする。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p>空き家実態調査・・・通報による把握に加え、堺市全域の戸建て及び長屋を委託により把握(R6年度実施)</p> <p>予防の取組・・・空き家所有者等への啓発、すまい相続・活用セミナー (年 1 回開催)</p> <p>活用・流通の取組・・・住宅専門家相談 (月 1 回開催)、空家等利活用支援業務を実施</p> <p>子育て世帯等空き家活用定住支援事業を実施</p> <p>管理不全対策・・・適切な窓口の案内、庁内連携による迅速な対応</p>					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	子育て世帯等空き家活用定住支援事業：空き家購入者					
10	公民連携・協働事業	協定締結した民間の不動産団体との空家等利活用支援業務等					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
	空家等利活用支援業務による利活用提案数	件		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
			目標値	10	10	10	10
			実績値	15	15		
達成率	150%	150%					
	当該指標を選定した理由	令和2年度から実施している空家等利活用支援業務において、空き家所有者に協力事業者から利活用の提案をすることで、空き家の管理不全化や空き家の解消が進むため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	空き家利活用支援業務に申込のあった空き家所有者に対し、利活用提案書を提示した件数					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
	すまい相続・活用セミナー参加人数	人		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	30	30	30	
			実績値	27	22		
達成率	90%	73%					
	当該指標を選定した理由	セミナーを継続的に実施し、受講者を増やすことにより、空家等利活用支援業務の制度の周知を行い、また空き家所有者等の意識啓発を図ることで、空き家の管理不全化を予防することができるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	セミナーに参加した空き家所有者等の人数					

令和7年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	空き家対策推進事業	事業番号	017-061
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和7年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)				
	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13	事業費 (a)	990	0	12,000	72,716	36,000
	財源内訳					
	国支出金	445		5,400	34,558	16,200
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	545		6,600	38,158	19,800

事業費の内訳		(単位：千円)								
	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	予算				R6	予算		
14	子育て世帯等空き家活用定住支援事業	R6	予算	36,000	19,800		R6	予算		
		R7	予算	36,000	19,800		R7	予算		
	令和6年度堺市空家等実態調査業務	R6	予算	36,716	18,358		R6	予算		
		R7	予算	0	0		R7	予算		
		R6	予算				R6	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R6	予算				R6	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R6	予算				R6	予算		
		R7	予算				R7	予算		

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期間	R ~ R		要求額	

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
R6まで	H28年度 空家等対策計画策定、R元年度 空家等実態調査、R2年度 空家等利活用支援業務開始 R3年度 すまいのプランニングノート作成、R4年度 空家等対策計画（さかい 魅力・安心 住まいプラン）改定 R5年度 子育て世帯等空き家活用定住支援事業開始・空家等対策の推進に関する特別措置法改正 R6年度 空家等実態調査業務の実施
16 R7	実態調査で得られた結果及び法改正の空家等対策計画への反映（改訂作業） 子育て世帯等空き家活用定住支援事業の継続実施 その他効果的な空き家対策に関する取組の検討
R8以降	子育て世帯等空き家活用定住支援事業の継続・検証 その他効果的な空き家対策に関する取組の検討・実施

Ⅴ. 要求のポイント

17 要求のポイント	子育て世帯等空き家活用定住支援事業は、空き家を購入し、市外転入又は市内の賃貸住宅から転居する若年・子育て世帯に対して空き家の購入費用の一部を補助することにより、空き家の活用と中古住宅の流通促進、及び若年・子育て世帯の市外からの転入及び市内定住を促進することを目的とする。 引き続き、子育て世帯等空き家活用定住支援事業の利用が見込まれる補助額を要求する。
------------	---

令和7年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	泉北ニュータウン子育て世帯等住まいアシスト事業	
担当部署名	建築都市 局	住宅 部
	事業番号	017-064
	住宅施策推進 課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ~Attractive~	施策	(5) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①多様な世代が住み、働き、安心して暮らし続ける機能の充実			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	泉北ニュータウン全人口に対する39歳以下の人口割合			
		寄与するKPI	有	現状値	目標値	30.5%(2025年度)		
		有・無	ゴール	—	ターゲット	—		
		有・無	取組	—				
		有・無	指標名	—				
		有・無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画							SENBOKU New Design
3	事業開始年度			平成 22 年度		点検対象年度		令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)							—

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)							本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)					泉北ニュータウン外から転入してきた若年世帯、子育て世帯のうち補助対象継続者 (令和7年度の補助対象世帯)	対象数	単位
						20	世帯	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)							若年世帯、子育て世帯の泉北ニュータウン外への転出を抑制する。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)							泉北ニュータウン外から転居または転入してきた若年世帯、子育て世帯の賃貸住宅の家賃の一部を補助 (最大月2万円、最長60か月)
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など							—
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載							—
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)							泉北ニュータウン子育て世帯等住まいアシスト補助事業補助対象者 (個人)
10	公民連携・協働事業							—

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		実績見込み		目標	
			令和5年度	令和6年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度	目標 点検対象年度
11	泉北ニュータウン子育て世帯等住まいアシスト補助事業の完了		目標値	実績値	達成率			
	当該指標を選定した理由	事業の完了が目的達成に寄与するため						
	目標値の設定根拠・算出方法	補助事業の進捗状況						
12	活動指標(成果を上げるための手段)		実績		実績見込み		目標	
	対象世帯への補助金の交付	—	令和5年度	令和6年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度	
			目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
			補助金交付	補助金交付	-	補助金交付	補助金交付	-
	当該指標を選定した理由	対象世帯への補助金交付が目的達成に寄与するため						
	目標値の設定根拠・算出方法	補助事業の進捗状況						

令和7年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	泉北ニュータウン子育て世帯等住まいアシスト事業	事業番号	017-064
-------	-------------------------	------	---------

Ⅲ. 令和7年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)										
13	財 源 内 訳	項 目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			決算		決算		決算		予算		予算要求	
		事業費 (a)	35,404		24,503		13,649		8,940		1,980	
		国支出金										
		府支出金										
		市債										
		その他 ()										
		受益者負担金(使用料、手数料等)										
		一般財源	35,404		24,503		13,649		8,940		1,980	
事業費の内訳		(単位：千円)										
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	
			R6	予算	8,940	8,940		R6	予算			
		泉北ニュータウン子育て世帯等 住まいアシスト事業補助金	R7	予算	1,980	1,980		R7	予算			
			R6	予算				R6	予算			
			R7	予算				R7	予算			
			R6	予算				R6	予算			
			R7	予算				R7	予算			
			R6	予算				R6	予算			
			R7	予算				R7	予算			
			R6	予算				R6	予算			
			R7	予算				R7	予算			
債務負担行為		(単位：千円)										
15	期間	R ~ R				要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
16	R6まで 補助対象世帯への家賃補助の支払い
	R7 補助対象世帯への家賃補助の支払い ※R7年度で事業終了
	R8以降

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	補助対象者への補助金支払いに係る費用を要求する。
----	---------	--------------------------

令和7年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	転用敷地処分事業	事業番号 017-039
担当部署名	建築都市 局 住宅 部	住宅管理 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	有・無	戦略	—	施策	—	
		無	取組の方向性	—			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	
		無	取組	—			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	

2 関連計画					
3 事業開始年度	平成 15 年度	点検対象年度	令和 7 年度		
4 実施根拠 (根拠法令、条例等)	公営住宅法、堺市財産規則				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市営住宅用地のうち建替えにより未利用となった土地	対象数	11	単位 宅地
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	行財政改革及びファシリティマネジメントの視点による利活用の推進			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> 既設建物の解体除却及び利活用に必要な土地境界の確定・測量・登記事務等 売却等の利活用までの維持管理 			
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	(公社) 大阪公共嘱託登記土地家屋調査士協会			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度	
11	土地売却件数	件	目標値	2	4	4	4	
			実績値	0	2	—	—	
			達成率	0%	50%	—	—	
	当該指標を選定した理由	未利用地の売却により行財政改革の取組に貢献できるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	売却を計画している土地のうち準備が整った売却見込件数と、売却した売却実績件数						
12	活動指標(成果を上げるための手段) 土地の測量・境界確定・登記等業務の委託件数	件	実績	令和5年度	実績見込み	令和6年度	目標	令和7年度
			目標値	2	1	4	—	
			実績値	3	1	—	—	
			達成率	150%	100%	—	—	
	当該指標を選定した理由	土地の活用に必要な業務であるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	土地の利活用に向けた、測量・境界確定・登記等業務の委託件数						

令和7年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	転用敷地処分事業	事業番号	017-039
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和7年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	18,392	12,698	7,604	9,861	7,982
13	財 源 内 訳	国支出金	0	0	0	0
		府支出金	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0
		その他 ()	0	0	0	0
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0	7,604	9,861	7,982
	一般財源	18,392	12,698	0	0	0

事業費の内訳

(単位：千円)

		主な項目				主な項目			
		年度	事業費	うち 一般財源	年度	事業費	うち 一般財源		
14	事 業 費 内 訳	不動産鑑定料	R6	予算 4,180	0	移転補償金	R6	予算 220	0
			R7	予算 4,801	0		R7	予算 0	0
		余剰地処分に伴う敷地測量業務	R6	予算 234	0	西野住宅跡地雨水管調査業務	R6	予算 600	0
			R7	予算 1,693	0		R7	予算 0	0
		管理地除草業務	R6	予算 1,487	0		R6	予算	
			R7	予算 1,488	0		R7	予算	
		アスベスト分析・調査業務	R6	予算 640	0		R6	予算	
			R7	予算 0	0		R7	予算	
		木造住宅除却工事	R6	予算 2,500	0		R6	予算	
			R7	予算 0	0		R7	予算	

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

	R6まで	市営住宅用地のうち建替え等により未利用となった土地について、利活用までの維持管理及び売却を行う。
16	R7	課題等の整理ができた未利用地について、土地の測量や登記業務、現地調査を行い売却等土地利用のための事務手続きを進める。
	R8以降	住宅管理課の未利用となった土地について、引き続き適切な維持管理を継続し、土地の利活用のため課題を整理する。

Ⅴ. 要求のポイント

	17 要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度において、土地売却予定件数の目標値は令和6年度から継続している物件があるため前年度と比して同じ件数となった。また測量等の委託件数の目標値は増加となったが、売却予定地の石綿分析・調査業務、雨水管調査業務や家屋除却工事がゼロになったことにより予算要求額は前年度と比して減少した。なお、土地の利活用までの維持管理に係る費用として、除草業務費用等が含まれている。 ・土地の売却は複数年度の事業の積み重ねであり、単年度での事業コスト評価は難しい面があるが、事業目的達成のための投資と評価をしている。
--	------------	---